Interview

院長にインタビュー

院長　歯学博士

山崎（やまさき） 行庸（ゆきのぶ） 先生

「皆様に“健康長寿はお口の中から”という意識を根付かせていきたい。」

東大阪市にある「医療法人山翔会 歯科山崎」は、より良い診断と治療を患者様にご提供するために、1944年に開設された歯科医院です。
院長である山崎行庸先生は、お若いながらも臨床経験豊富な歯学博士であり、気鋭の歯科医師です。また、患者様お一人おひとりに対し、各専門分野に精通した歯科医が多角的・総合的に診断を行う治療を目指されています。
今回はそんな山崎先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。



正しい知識と豊富な臨床経験を持つ歯科医院で治療を受けることが大切

―― 初めにお伺いします。山崎先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

従来なら歯が欠損した場合、ブリッジまたは入れ歯しか選択肢がありませんでした。

ブリッジの場合、比較的短期間で治療ができる反面、抜けた歯の隣の歯を削らなければいけないことや、見た目の不自然さも伴います。また、入れ歯の場合は、保険適用ができるケースもありますが、取り外すことの煩わしさや、歯にかけるバネが審美的ではないことなどの欠点があります。



インプラントは入れ歯・ブリッジより費用が高くなるものの、これらの欠点を改善し、自然な表情で笑ったり、食事を美味しく食べられますので、**患者様の「Quality Of Life（生活の質）」をより一層向上させることが出来ます。**

―― それでは、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

患者様から「以前は入れ歯が合わずに困っていました。大好きだった外食も億劫になり、休日も引きこもりがちでした。刺身やステーキが好物なのですが、前は痛くて全く食べられなかったので、インプラントをしようと決心しました。」というお声や、「インプラントをしてからは食事も美味しく感じられ、旅行も食事も回数が増え、ついでに体重も増えました（笑）。」など、嬉しいお声を多数頂戴しております。

―― 皆様、インプラントにして人生楽しまれていますね！しかし、インプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？



近年、テレビや週刊誌等でインプラントのトラブルを散見します。そのトラブルの原因は、歯科医師の技術や知識不足によるものが多く、正しい知識と豊富な臨床経験を持つ歯科医院のもとで治療を受ければ、防げるものばかりです。丁寧な検査を行い、インプラントを埋める位置を3D画像で確認するなど、**事前準備をしっかり行う歯科医師にインプラント手術を依頼することが大切**です。

もちろん、手術後の患者様の自己管理も必要です。歯科医師の指導に従って毎日のケアと定期健診を忘れなければ、大きなトラブルにはなりませんのでご安心下さい。

美味しくお食事ができるのは幸せの第一歩

―― ところで、山崎先生は常に進化するインプラントの最先端技術や知識をどのように習得していらっしゃいますか？

国内インプラント関係の学会、勉強会はもちろんですが、ITI（国際的なインプラント交流グループ）での定期的な勉強会にて世界的な技術と情報を学んでいます。歯科医師になって約20年ですが、ほぼ毎月講習会に参加しています。

―― それでは、患者様とのコミュニケーションにおいて心掛けている点はどういうところでしょうか？

患者様それぞれが求めていることを、可能な限り応じるということです。

年齢や経済面、気持ち…。歯科医師の思う最善の治療が、必ずしもその人にとっての一番ではないと思います。お口の中だけ見るのではなく、その方の背景を考え「木を見て森を見ず」にならないように気を付けています。

例えば、処置についてはなるべく痛くないように、お口を開けている時間が短くなるように心掛けています。こんな坂の途中の不便な所まで来てもらっているのだから、出来るだけ通院回数を減らすことにも配慮しています。一人にかける時間は長くなってしまいますが、**患者様のメリットを優先し、効率良く質の高い治療を目指しています。**

―― 患者様への配慮が行き届いていますね！それでは山崎先生、ずばり！クリニックの強みはどういうところでしょうか？

長年インプラント治療に携わる歯科医として、**最新の知見と医学的な根拠のバランスを見極め、患者様により良い治療法をご提案**させて頂きます。

歯科医院としましては、最先端の機器や治療を取り入れ、常にブラッシュアップしていることですね。

そして、その中での自分の役割として、専門的な知識や技術はもちろん、人間的な魅力を持って診療に取り組み、患者様が安心して治療を受けられる環境を整え、信頼関係を築く努力をしたいと思っております。

―― それでは最後に、山崎先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょう？

健康の源は食事であるのは周知の事実です。

美味しくお食事ができるのは幸せの第一歩だとも言えます。その幸せのサポートができ、患者様から喜んでいただいた時は歯科医師冥利に尽きます。

日本の平均寿命が世界的に長いことはよく知られていますが、健康寿命（心身共に自立し、健康的に生活出来る期間）はそれほど長くないと言われています。**日本人が人生最後の10年をベッドに寝たきりで過ごすのに対して、歯のメンテナンスをしっかり行っている北欧諸国の人たちの健康寿命は、日本人よりも10年ほど長い**とも言われます。好きなものを食べられないし、笑えない、そんな10年で本当にいいのでしょうか。改めて患者様が安心して治療を受けられる環境を整え、皆様に「健康長寿はお口の中から」という意識を根付かせていきたいと思っております。